

機械設備工事特記仕様書

工事名称		金下貸店舗解体工事（機械設備工事）	
工事場所		守口市金下町1丁目3番1号	
敷地面積		285.48㎡	
建物概要		主建物：鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造） 地上3階建て 延べ床面 292㎡	
		倉庫：木造 平屋建て 延べ床面 8.28㎡	
		屋外便所：補強コンクリートブロック造 平屋建て 延べ床面 1.54㎡	
I. 共通事項			
(1)機械設備の解体図については、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)・同解説」（以下「解体標準仕様書」という）及び「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) (令和4年版)」（以下、「改修標準仕様書」という）による。 なお、解体標準仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) (令和4年版)」（以下、「標準仕様書という」）による。 (2)下記の項目は ● 印が付いたものを本工事適用し、選択肢となっている場合は ● 印が付いたものを本工事に適用する。 ただし、● 印のない場合は※印を適用する。			
章	項目	特記事項	
1 一般共通事項	1.発生材の処理	● 引渡しを要するもの（○金属類等 ●機器類） ※引渡しを要する機器類のうち、家電リサイクル法に該当するパッケージ形空調機は室外機に冷媒を封じこめたもの、引渡しを行うこと。	
	2.官公署その他への届出手続等	● 本工事を含む 別途 ※工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、標準仕様書第1編1.1.3の当該項目による	
2 解体施工	1.浄化槽・排水槽	○ 残留物の処理 ※本工事に含む（処理方法は図示による） ○ 別途 ○ 清掃・消毒 ※本工事に含む ○ 別途	
	2.オイルタンク	○ 残油の処理 ※本工事に含む（処理方法は図示による） ○ 別途 ○ 清掃、中和処理 ※本工事に含む ○ 別途	
	3.地下埋設物・埋設配管	● 地下埋設物及び埋設配管の解体 ※ 行う（範囲 ※ 図示による） ○ 行わない	
3 再資源化	1.再資源化	○ 再生資源化を図るもの ※本工事に含む 別途 ● 処分先 ※建築工事の解体特記仕様書による ○ 下記による	
		種類	所在地 備考
	・コンクリート		
	・コンクリート2次製品		
	・木材		
	・アスファルト、コンクリート		
4 特別管理産業廃棄物の処理等	1.特別管理産業廃棄物の処分等	○ 特別管理産業廃棄物 種類 対象資機材等 処理方法 備考 ・ アスベスト含有資機材 ・ 廃油 ・ 廃酸、廃アルカリ ※ 廃油の回収は改修標準仕様書 第3編第2章第4節2.4.4による。	
	2.特殊な建設副産物の回収及び処分	● 特殊な建設副産物 種類 対象資機材等 処理方法 備考 ・ フロン ※ 冷媒の回収は改修標準仕様書 第3編第2章第4節2.4.3による。	
5 アスベスト含有建材の除去等	1.施工調査	目視、既存資料による製造年等の確認 建材中の石棉含有率の分析調査による確認 分析方法は以下による。 ※ JIS A1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又はJIS A1481-3「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部：アスベスト含有率のX線回折定量分析方法」による。 分析結果については、監督職員に報告すること。	
	2.アスベスト含有資機材の除去	以下のアスベスト含有資機材は関係法令に従い、適切に処理する。	
	材料名	定性分析	定量分析
	冷温水管保温材	○（試料数： ）	○（試料数： ）
	煙道断熱材	○（試料数： ）	○（試料数： ）
	給水管保温材	○（試料数： ）	○（試料数： ）
	ダクトフランジパッキン	○（試料数： ）	○（試料数： ）
	※採取箇所については、図示による		

用 途		特 記 事 項	
空調設備 (図面特記部分は除く)	1) 冷温水管・膨張管・エアークラス管・膨張タンクより、ボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白) 2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白) ○ 塩ビライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 3) 蒸気給気管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒) ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) 4) 蒸気遠管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) 5) 油管 一般配管〔トラフ内共〕 ※配管用炭素鋼鋼管(黒) 地中配管(屋内及び屋外)※ポリエチレン被覆鋼管 6) 空調用給水管 ※ 塩ビライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA) ○ ステンレス鋼管(SUS304) ○ ポリ粉体鋼管 (SGP-PA, SGP-FPA) 7) 空調用排水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管(白) ○ 排水用塩ビライニング鋼管 ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 8) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 ○ 鋼管 ○ 鋼管		
給水設備 (図面特記部分は除く)	1) 一般配管 ○ ステンレス鋼管(SUS304) ○ 塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ● 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) 2) 地中配管 〔屋内〕 ○ ステンレス鋼管(SUS316) ○ 塩ビライニング鋼管(SGP-VD, SGP-FVD) ○ 水道用ポリエチレン二層管(※2種 ○ 1種)(ただし、呼び径50以下) ○ 水道配水用ポリエチレン管(JWWA K 144) ● 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 〔屋外〕 ○ 水道用ポリエチレン二層管(※2種 ○ 1種)(ただし、呼び径50以下) ○ 水道配水用ポリエチレン管(JWWA K 144) ● 水道用硬質塩化ビニル管(HIVP) ○ ステンレス鋼管(SUS316) ○ 塩ビライニング鋼管(SGP-VD, SGP-FVD) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		
排水設備 (図面特記部分は除く)	1) 屋内汚水管 ○ 排水用塩ビライニング鋼管 ○ メカニカル形排水用鋳鉄管(※1種管 ○ 2種管) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 2) 屋内雑排水管 ○ 排水用塩ビライニング鋼管 ○ 配管用炭素鋼鋼管(白) ● 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 3) 屋外汚水・雑排水管 ○ リサイクル発泡三層硬質ポリ塩化ビニル管(RF-VP) ● ヒューム管(HP) ○ リサイクル三層硬質ポリ塩化ビニル管(RS-VU) ○ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(REP-VU) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 4) 通気管 ○ 配管用炭素鋼鋼管(白) ○ 排水用塩ビライニング鋼管 ○ リサイクル発泡三層硬質ポリ塩化ビニル管(RF-VP) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 5) 鋼管類のポンプアップ排水用の配管 ○ 塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○		
給湯設備 (図面特記部分は除く)	※鋼管		
消火設備 (図面特記部分は除く)	1) 一般配管 ○ 配管用炭素鋼鋼管(白) ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(白) ○ 2) 地中配管(屋内及び屋外) ※外面被覆鋼管(○ SGP-VS ○ SGP-PS)		
ガス設備 (図面特記部分は除く)	〔屋内〕 ● 配管用炭素鋼鋼管(白) ○ 合成樹脂被覆鋼管 (ビット内) ○ ポリエチレン被覆鋼管 〔屋外〕 ● 配管用炭素鋼鋼管(白) ● ポリエチレン管		

※ 保温の有無と種別は標準仕様書による

特記事項	凡例		名 称	金下貸店舗解体工事	NO SCALE	M-01
			図 名	機械設備特記仕様書		
					RYU ARCHITECTS	一級建築士事務所 有限会社 リュウアーキテクト 一級建築士 第229359号 平田 幸隆

空調設備 機器リスト (撤去)

[illegible]

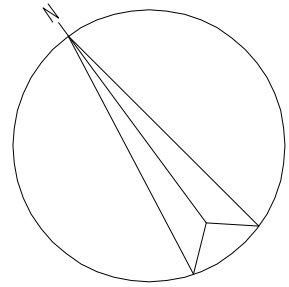
衛生設備 機器リスト (撤去)

[illegible]

衛生器具リスト（撤去）

[illegible]

特記事項	兵衛 ① 特記なし限り【全撤去】とする。		名 称	金下貸店舗解体工事	NO SCALE	M-02
			図 名	空調・衛生設備 機器リスト（撤去）、衛生器具リスト（撤去）		
						RYU ARCHITECTS 一級建築士事務所 有限会社 リュウアーキテクト 一級建築士 第229359号 平田 幸隆



凡 例			凡例（既設配管の凡例）
記 号	名 称	備 考	
	汚水管・雑排水管	屋外（排水樹間）：ヒューム管（HP）	
	汚水管・雑排水管	屋内・屋外：硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	
	給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）	
	ガス管	配管用炭素鋼管（SGP（白））	

樹リスト（撤去）

記号	名 称	形状・寸法	深さ	地盤高	管底高	蓋・マンホール	備 考
Ⓐ	RC製インバート井	400X400	480	±0	480	鋳鉄製防臭蓋350φ	
Ⓑ	RC製インバート井	400X400	440	〃	440	鋳鉄製防臭蓋350φ	
Ⓒ	RC製インバート井	400X400	390	〃	390	鋳鉄製防臭蓋350φ	
Ⓓ	RC製インバート井	400X400	350	〃	350	鋳鉄製防臭蓋350φ	

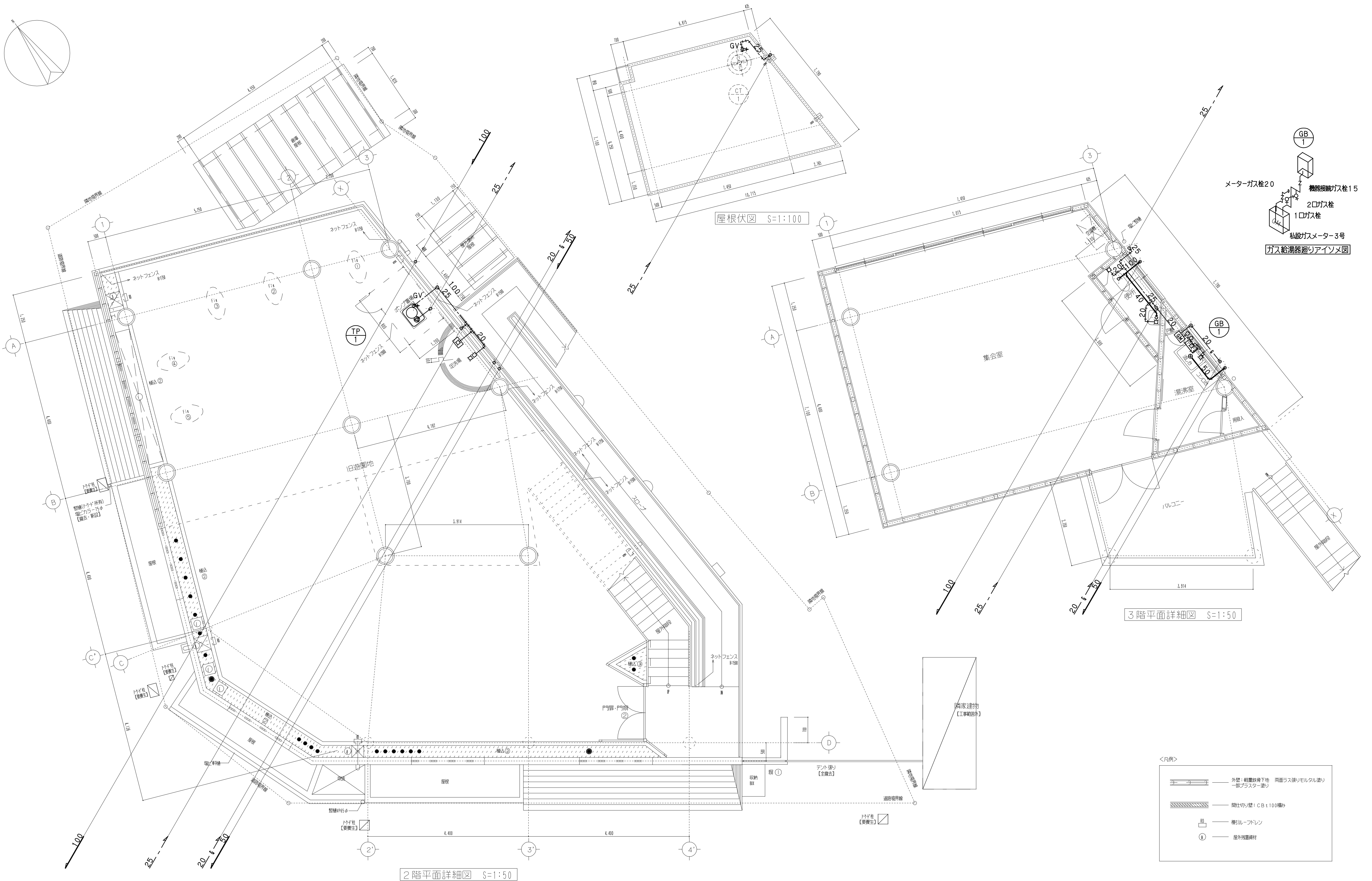
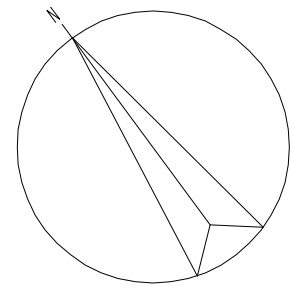
道路部分 舗装掘削・復旧範囲（建築工事）

注記
1）水道メーター（市貨与品）は、市水道局へ返却し閉栓の手続きを行うこと。
2）私設ガスメーターは本工事にて撤去する。
3）既存公共樹は、存置とし敷地内からの排水管接続部の穴は閉塞処理を行う。
4）道路部分のガス引込管は、大阪ガスの資産となるため撤去依頼を行う必要がある。
（撤去費用は大阪ガスが負担）
解体時の既備カット依頼時にガス引込管の撤去も合わせて依頼すること。

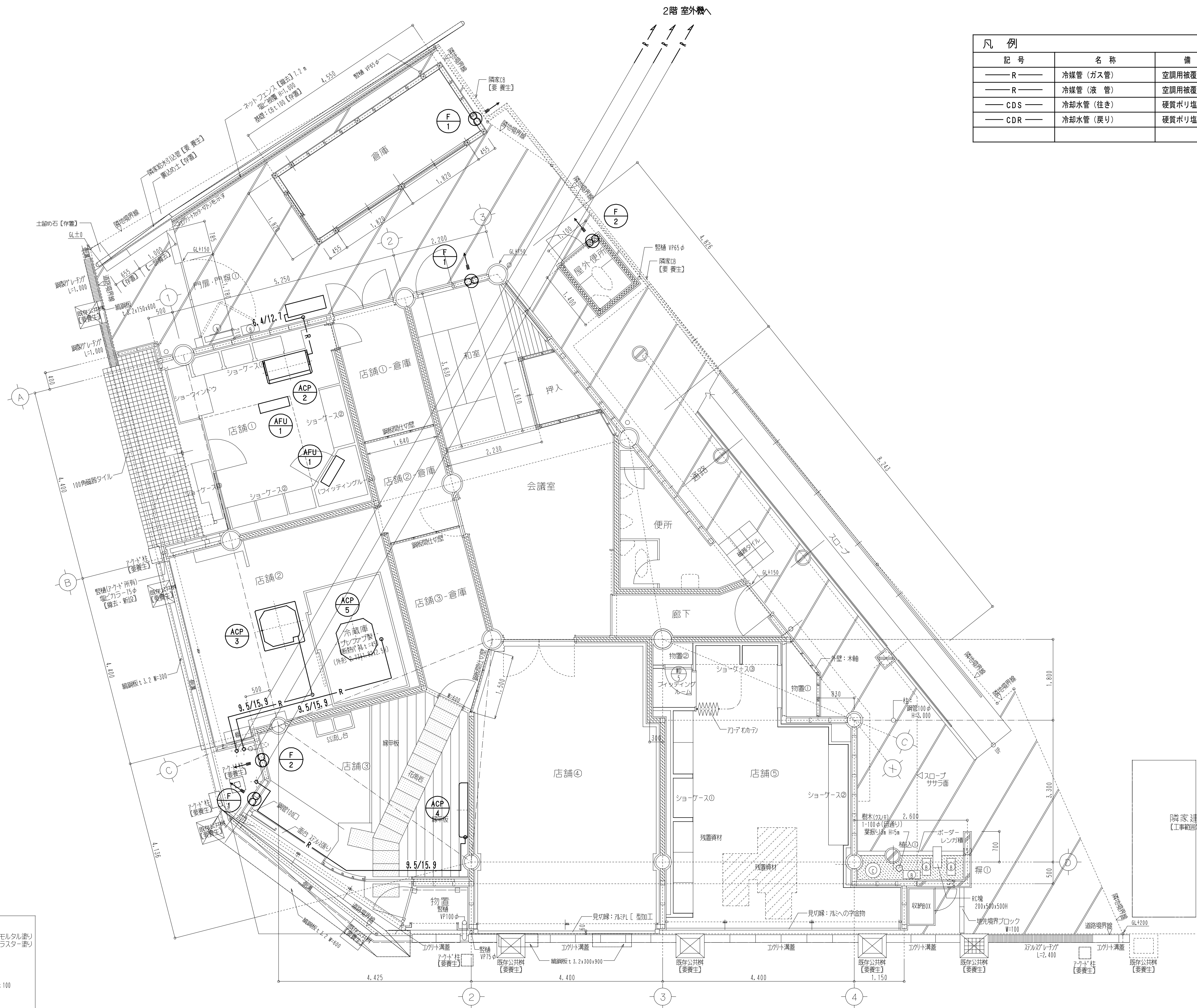
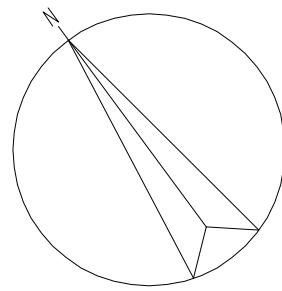
<凡例>	
	外壁：軽量鉄骨下地 両面ラス張りセメント塗り 一部 プラスター塗り
	間仕切り壁：C/B t100横み
	土間コンクリート（セメント塗り）t100 （3φ 8250 ヲガ K10）
④	屋外残置資材

1 階平面詳細図 S=1:50

特記事項	凡例	① 特記なき限り【全撤去】とする。											名 称	金下貸店舗解体工事										1 : 50	M-03							
													図 名	1 階平面詳細図（衛生）（撤去）																		
													RYU ARCHITECTS										一級建築士事務所 有限会社 リュウアーキテツツ 一級建築士 第229359号 平田 幸隆									



特記事項	凡例	① 特記なき限り【全撤去】とする。			名 称	金下貸店舗解体工事			
					図 名	2・3階平面詳細図、屋根伏図（衛生）（撤去）		1:50、1:100	M-04
						RYU ARCHITECTS		一級建築士事務所 有限会社 リュウアーキテツツ 一級建築士 第229359号 平田 幸隆	

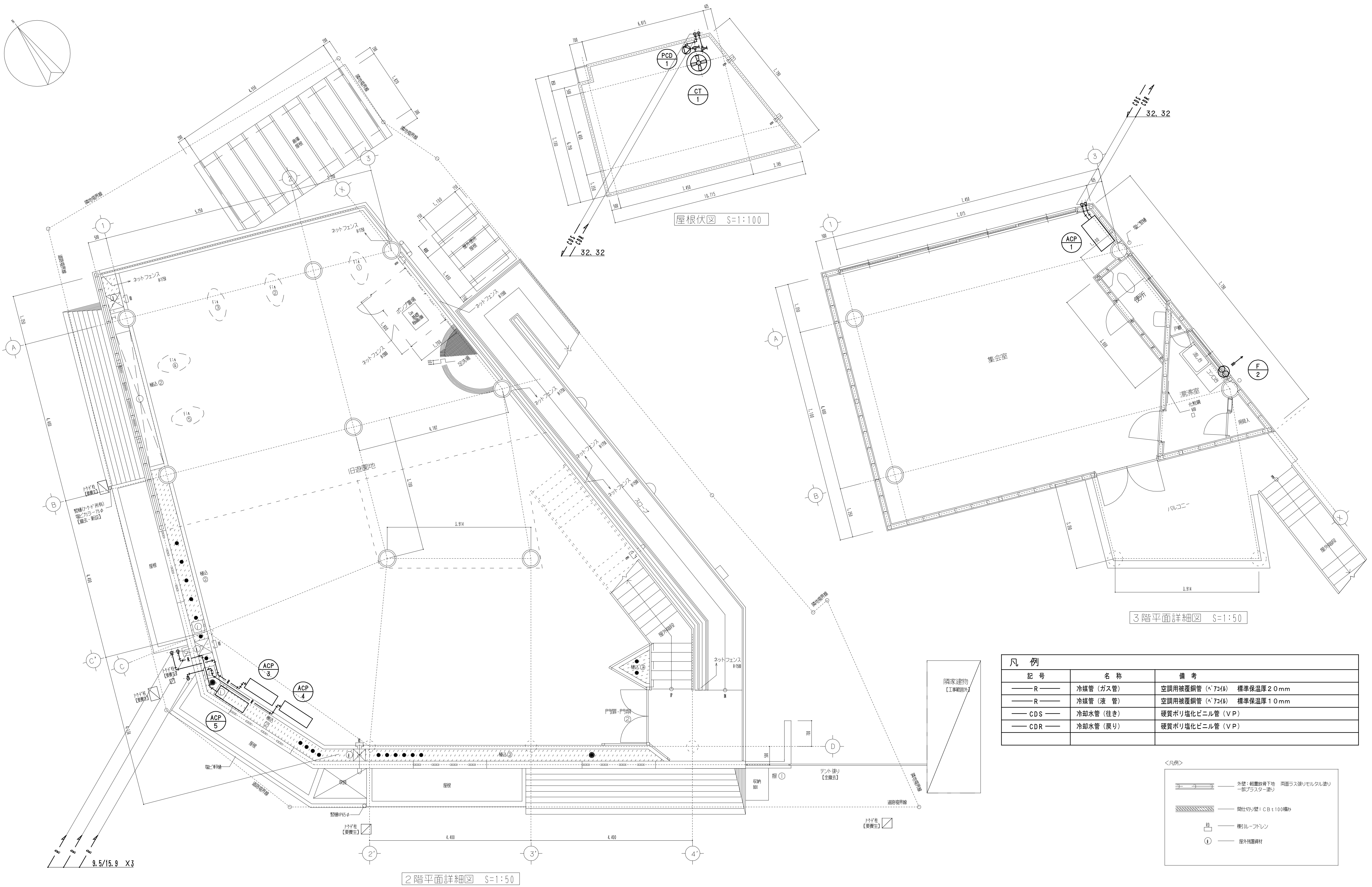
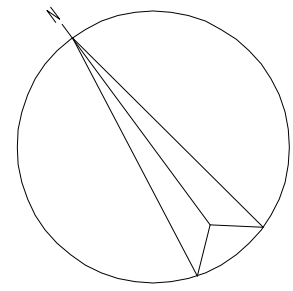


凡 例		
記 号	名 称	備 考
— R —	冷媒管 (ガス管)	空調用被覆銅管 (φ73φ) 標準保温厚 20mm
— R —	冷媒管 (液 管)	空調用被覆銅管 (φ73φ) 標準保温厚 10mm
— CDS —	冷却水管 (往き)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— CDR —	冷却水管 (戻り)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

< 凡例 >	
	外壁：軽量鉄骨下地 両面ラス張リモルタル塗り 一部 プラスター塗り
	間仕切り壁：C/B t100種み
	土間コンクリート (モルタル塗り) t100 (3φ 8250 ヲガ 600)
	④ 屋外保温資材

1階平面詳細図 S=1:50

特記事項	凡例	① 特記なき限り【全撤去】とする。				名 称	金下貸店舗解体工事		
						図 名	1階平面詳細図 (空調換気) (撤去)	1 : 50	M-05
RYU ARCHITECTS							一級建築士事務所 有限会社 リュウアーキテクト 一級建築士 第229359号 平田 幸隆		



凡 例		
記 号	名 称	備 考
— R —	冷媒管 (ガス管)	空調用被覆銅管 (φ73/4) 標準保温厚 20 mm
— R —	冷媒管 (液 管)	空調用被覆銅管 (φ73/4) 標準保温厚 10 mm
— CDS —	冷却水管 (往き)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— CDR —	冷却水管 (戻り)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

<凡例>	
	外壁: 軽量鉄骨下地 間面タス張りセメント珪砂塗り 一部プラスター塗り
	間仕切り壁: CBt100横み
	階段: ルーフドレン
	①: 屋外残置鋼材

特記事項	凡例	① 特記なき限り【全撤去】とする。		
		名 称	金下貸店舗解体工事	
		図 名	2・3階平面詳細図、屋根伏図 (空調換気) (撤去)	1:50、1:100 M-06
			RYU ARCHITECTS 一級建築士事務所 有限会社 リュウアーキテツツ 一級建築士 第229359号 平田 幸隆	